

## 「市報かんざき」4月号の 表記について

4月1日より市の組織機構を一部変更しています。

「市報かんざき」4月号については、一部、変更前の担当課等を表記しているものがあります。

御し承ください。

## 市議会3月定例会

市議会3月定例会が3月2日から3月26日までの25日間開催され、条例の制定・改正案10件、平成18年度補正予算案6件、平成19年度当初予算案6件、事件決議件3件、人事案件1件を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

## ○提案要旨

### 『神埼市の礎を築く年』

神埼市は、昨年3月20日、人口3万4千人弱の市として誕生しました。平成18年度は、合併初年度として、合併協議会の決定事項を尊重しながら、これまでの行政サービスを維持することと地域間調整に努め、何より

も、神埼町、千代田町及び脊振町の住民の協調と融和を優先的に図ってきました。

この1年を振り返り、改善すべき点も多々ありますが、それなりの進展はできたものと思っています。これも多くの市民の皆様のご理解とご協力のお陰であると感謝申し上げます。

平成19年度の神埼市は、平成18年度の反省を踏まえ、さらに発展し、神埼市のありようの礎を築くべき大切な時期、年であると考えています。

神埼市は、「市町村の合併の特例に関する法律（合併特例法）」によって認められた、小さい規模の「市」ですが、若者が生き生きと働き、賑やかに集い、安心して子育てができ、そして、高齢者が明るく、元気で、生きがいを持って生活できるまち、神埼市のまちづくりを目指します。

自らのまち、自らの地域は、自らが守り、自らが創造していくべきだと考えています。そして、この活動から得られた喜びは、多くの市民の方々と共有する地域協働を基本として、安全安心なまち、神埼市づくりを推

進していきます。

そのためには、行政の考えを市民に伝え、市民のありのままの意見を求める相互の意思疎通が絶対であることから、広報公聴体制を強化し、地域担当の職員を配置するなど、積極的にまちづくりを進めていきます。

一方、市民とお約束しています事項（『6×4のお約束』）の実現に向け努力いたしますが、国の財政再建による地方交付税の減額は、市の財政を大きく逼迫し、財政見通しは極めて厳しいものであり、今日進めております行政改革推進委員会の答申及び市の総合計画審議会の答申を待って、神埼市としてのありようを定める決断を下していきます。

そのためには、職員の意識改革をはじめ、市民の行政に対する意識の改革も必要であると考えます。

このような認識に立ち、市長以下全職員が緊張感を持って、心をついにし、日々の事務事業を的確に、適正に行い、その結果として市民の皆様に評価される行政運営に全力で取り組んでまいります。市民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願いします。

## ○条例制定・改正

「神埼市副市長定数条例」など4条例が制定され、「神埼市部設置条例」、「職員の勤務時間、休暇等に関する条例」など6条例が一部改正されました。

## ○平成18年度補正予算

平成18年度一般会計、国民健康保険事業特別会計、国民健康保険診療所特別会計などの予算が次のページの表のとおり補正されました。

## ○平成19年度当初予算

平成19年度一般会計、国民健康保険事業特別会計などの当初予算の総額は次のページの表のとおりです。

## 一般会計当初予算の概要

- ①議会費関係  
議員の調査活動基盤の充実を図り、審議能力強化のため会派または議員に対し、政務調査費を交付します。
- ②総務費関係  
神埼市の情報をわかりやすく紹介するための市勢要覧作成、平成21年度の固定資産評価替えに先立ち適正評価額の基礎
- ③民生費関係  
高齢者の介護予防を図る高齢者の生きがいと健康づくり推進事業（ふれあいサロン）の充実、高齢者や家族に対する総合的な相談支援など各種事業を行います。
- ④衛生費関係  
予防接種法に基づく予防接種事業、生活習慣病予防対策の一環として疾病の早期発見、早期治療を図るための健康診断事業を行います。
- ⑤農林水産業費関係  
イチゴ、アスパラなどの施設利用組合、尾崎ライスセンター、農業担い手集積のための組合等への機械、施設整備を支援。農家と非農家が共同作業で行う共同活動事業、農家が減農薬、減化学肥料に取り組み営農活動事業を新たにを行います。
- ⑥商工費関係  
神埼市商工会が行う経営改善普及事業、地域総合振興事業に対し支援を行います。
- ⑦土木費関係  
市道の改良整備や維持補修を

行い生活道路としての利便性の確保、ガードレール、転落防止柵、カーブミラーなどの整備により安全の確保を行います。神埼中央公園の緑地整備を基本に都市公園整備事業を行います。

### ⑧ 消防費関係

地区に配置されている消防設備（一般的に消防自動車といわれるもの）を計画的に更新していきます。

### ⑨ 教育費関係

学校教育においては、施設の耐震診断、改修、いじめや不登校対策としてスクールアドバイザー事業の充実など、生徒児童の安心安全な教育環境を提供。社会教育では、子どもの健全な育成を図るため、放課後児童クラブ、ドリームパーク、子どもわんぱく支援事業などの充実を図ります。

### ⑩ 公債費

通常の元金償還に加え、高利率地方債の繰り上げ償還、及び借換えを計画しています。

主な事業は、次のページのとおりです。

## ○事件決議

神埼地区消防事務組合、三神地区環境事務組合、脊振共同塵芥処理組合の規約変更に関する審議がなされました。

## ○人事案件

教育委員会委員の宮原重人委員の任期満了（平成19年5月9日）に伴い、藤野良海氏を後任として任命することについて、同意を得ました。

## 職員地区担当制について

～定例市議会一般質問の  
市長答弁より一部抜粋～

◆地区担当制の必要性・目的  
まず、神埼市は、合併した3町村で行政のあり様が異なっていました。新生神埼市としての新たなあり様として、3万4千人弱の総市民がひとつとなり、同じ目標を持つ新たなあり様が求められているものと考えます。このような考えから、合併という変化のあった市においては、特に、調整など行つた新たな事項、まったく新しく定められた事項、議会の合意を得た事項、及び市の行政運営として定めた事項などについては、市民に正しく、早く、周知徹底をする必要があります。これがなければ、市民はどうすればいいのかわからず、結果として、市民と職員との間にトラブルが生じ、市民の、市行政に対する不信と合併への後悔心を招くこととなってしまいます。だから、市行政側からはこのような事項についての正しい伝達、広報が必要だと考えます。「広報機構の充実が大切」と考える理由です。

次に、誕生した市において、異なつた3地区の市民が、何を望んでいるのか、市行政側から送つた事項をどのように受け止めているか、どこをどのように改善して欲しいのか、といった市民の意見や要望などを、市はいち早く情報収集、その善処策を検討し、よりよい神埼市の運営に努め、新しい神埼市のあり様を創造してゆくべきだと考えます。「公聴機構の充実が大切」と考える理由です。

このように、新市のあり様をスムーズに定めてゆくには、市行政側からの情報伝達制度と市民側からの情報の公聴制度が、大切な要素であると考えます。

市民と市行政との間の広報、公聴の役割を務める媒体となる「広報公聴システム」はさまざまありますが、より確かなものとして、有能な市職員を考へていきます。職員を媒体とすることで、より正確に、スムーズに相互の意思の疎通が可能になると考えます。

◆職員地区担当制のメリット  
最大は、地域住民、区長やその他の役員の方と市との確実なコミュニケーションを共有することです。

市民側から、改めて役所に尋ねるまでではないが、まあ聞いてみるかといった事柄などを気軽に尋ねて確認ができ、住民の些細な不安、悩みが解決が図られることです。

地域と職員とが頻りに連絡を取り合うことにより、相互の信頼がもたれ、市行政と地域との間が縮まり、行政が住民にとって身近な存在になれることです。

地域担当職員は、従来の所属担当業務のみに専念しているだけでは、幅広い地域の課題に対して、自己の有する情報、知識の発揮ができません。地域との意見伝達、意向拝聴といったことがうまく処理できないため、普段から、市行政全体の業務の把握、知識、情報の習得による自己研鑽が必然的に求められることとなります。よって、職員の資質の向上と効率的サービスの実現につながることで、地域との密接な連携状態にあることから、職員が地域の行事に参

加することもより可能になり、職員の保有する能力、知識が必然的に地域活動に活用されることで、これら以外にも、今後、付加的にさまざまなことが考えられます。

◆割り当てる職員・時期  
神埼市には、121集落があるため、121名の職員が必要となります。より広い内容の行政事項に対応するため、係長及び係長相当の力量を有する職員を配置してはとを考えます。

時期については、今後、検討の詰めが必要なため5月初め前後には実施したいと思っております。

◆職員地区担当制のデメリット  
これまで以上の業務が加わることで、強いてあげるとすれば、職員に、合併にかかると業務という特別な仕事に出会っている今日の職員は、合併の目的実現に向け、職員一人ひとりが公務員としての自負心と責任において、地域の発展、神埼市の礎を築いてくれるものと期待し、このデメリットは必ずや、職員の、高い市職員精神と地域愛によって克服できるものと確信しています。

このようにまだ不確定ではあるものの、この職員による地区担当制度も新生神埼市の新しいあり様として、職員はもとより地域の区長、役員の方等が、うまく連携して活用され、うまく機能していくことを期待するところです。市民の皆様からも、よりよい制度となすためのご意見をいただき、よりよい制度に育てていけるようご理解とご協力をお願い申し上げます。

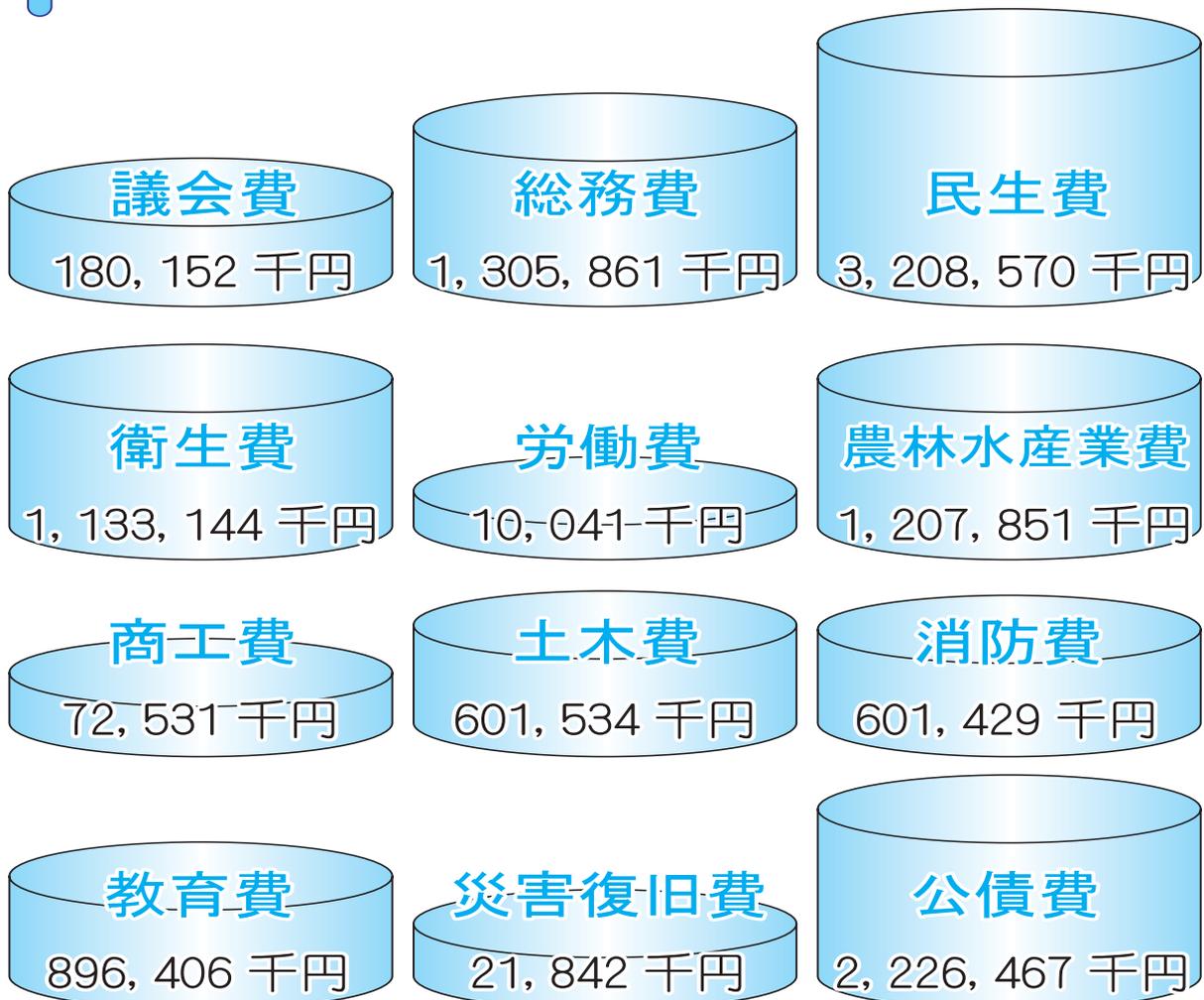
●平成 18 年度 3 月補正予算の状況

会 計	補 正 予 算 の 状 況
一 般 会 計	2 億 7,767 万 8 千円を減額補正し、 予算の総額は 121 億 3,124 万 3 千円となりました。
国民健康保険事業特別会計	729 万 6 千円を減額補正し、 予算の総額は 33 億 3,084 万 7 千円となりました。
国民健康保険診療所特別会計	582 万 1 千円を減額補正し、 予算の総額は 7,923 万 4 千円となりました。
老人保健医療特別会計	2 億円を減額補正し、 予算の総額は 43 億 2,975 万 5 千円となりました。
下水道事業特別会計	9,994 万 3 千円を減額補正し、 予算の総額は 10 億 4,399 万 9 千円となりました。

●平成 19 年度当初予算の状況

会 計	当 初 予 算 額
一 般 会 計	114 億 7,600 万円
国民健康保険事業特別会計	35 億 793 万 6 千円
国民健康保険診療所特別会計	8,440 万 2 千円
老人保健医療特別会計	40 億 4,502 万 7 千円
簡易水道特別会計	292 万 1 千円
下水道事業特別会計	10 億 6,921 万 1 千円

平成 19 年度 一般会計 当初予算(目的別)



●平成 19 年度当初予算の主な事業

(単位：千円)

会計	事業名	予算額	事業の内容
一般会計	総務費関係		
	市勢要覧作成委託	1,580	市政情報を紹介し、市内外へ情報発信する
	標準宅地鑑定業務	11,209	平成 21 年度固定資産税（土地）の評価替えにおける、標準宅地の不動産鑑定評価など
	固定資産評価システム統一化業務委託	38,430	旧 3 町村のシステムなどの統一化を図り、適正な評価額のデータを作成する
	コミュニティ助成事業	23,300	宝くじの普及広報事業として住民のコミュニティ活動を推進するとともに施設の充実を図るための助成
	民生費関係		
	乳幼児医療費助成事業	40,474	乳幼児の医療に要する医療費の助成
	就学前児童医療費助成事業	33,600	就学前児童の医療に要する医療費の助成
	出産祝券交付事業	10,520	神埼市の将来を担う子どもの誕生を祝福するとともに保護者の子育て支援のために交付
	児童手当費	255,470	子育ての負担を緩和し、安心して子育てができるような環境を整備するため、小学 6 学年終了までの児童を養育している人に対し交付
	児童扶養手当費	90,493	父と生計を同じくしない児童が育成される家庭の、生活の安定と自立の推進のため、当該児童の母または養育している人に対し交付
	私立・管外保育所運営事業費	329,759	保護者が労働・疾病等で、家庭において保育できない児童を保護者に代わって保育するため、私立・管外（市外）の保育所に保育を委託
	特別保育事業（一時・延長・乳児）	25,796	一時保育、延長保育等を行う保育所に対する補助・助成
	生活保護扶助費	184,892	生活保護法に基づく最低限度の生活を保証する保護費の支給
	生きがい活動支援通所事業	29,000	在宅のおおむね 60 歳以上の高齢者に対し、通所の方法により各種のサービスを提供する
	老人保護措置費	35,718	老人ホーム入所に対する措置費
	長寿祝金・敬老事業費	10,503	80 歳(傘寿)・88 歳(喜寿)・100 歳以上(上寿)の方への祝金、及び地区単位の敬老会開催に対する補助
	あんま・はり・灸施術助成事業	10,260	高齢者にはり、きゅう、あん摩、マッサージ等の施術費の一部を助成
	障害者自立支援給付費	239,762	障害者に対する介護及び訓練等を支援するため給付
	重度心身障害者医療費助成事業	73,920	精神若しくは身体に重度の障害を有する者に対する医療費の一部助成
	包括的支援事業	26,078	介護保険料の上昇抑制、高齢者の健やかな生活構築のため、専門職員を配置し各種事業を実施する
	衛生費関係		
	老人保健健康診査事業	42,969	生活習慣病等疾病の早期発見、早期治療を図るため総合健診などを実施する
	浄化槽設置整備事業補助金	24,294	浄化槽設置に対する補助
	農林水産費関係		
	中山間地域等直接支払事業	44,112	中山間地域の農地保全の推進
	元気な地域づくり交付金事業	23,956	山間地域振興のため、自然環境等地域固有の特性を生かした地域の担い手の確保、棚田地域の保全推進
	魅力あるさが園芸農業確立対策事業	22,172	施設園芸栽培施設の整備に対する補助
	強い農業づくり交付金	20,400	ライスセンターの新機械導入に対する補助
	新たな米政策対策事業(担い手育成条件整備事業)	59,971	集落型経営体や個別大規模農家の営農確立に必要な機械や施設整備に対する補助
	花のある風景整備事業	2,424	神埼駅北口の一角にコスモスと菜の花を作付けし、神埼を PR する
	ふるさと農道緊急整備事業	47,229	農道の拡幅工事、舗装工事など
	県営地域用水環境整備事業	20,044	直島環濠集落の水環境整備事業
	農地・水・環境保全向上対策事業	16,172	農家と非農家が共同作業で行う活動、農家が減農薬・減科学肥料に取り組む活動を支援する
	クリーク防災機能保全対策事業	20,043	クリークの護岸整備および堆積土砂の浚渫
	森林環境保全整備事業	48,746	林道の改築事業
	商工費関係		
	中小企業融資資金	22,000	中小企業の運転資金や設備資金に対する融資を推進するための資金融資
	土木費関係		
	道路橋梁維持費	30,459	市道法面の補修工事、舗装補修工事等の市道の維持経費
	単独事業（道路新設改良費）	32,121	市道の新設・改良・舗装
	公営住宅ストック総合改善事業	24,500	市営右原団地の外壁や屋根の修繕
	都市公園整備事業（神埼中央公園）	75,443	神埼中央公園の駐車場整備事業・緑地整備事業
	消費費関係		
	災害対策費（防災マップ等作成）	2,730	地域防災計画、国民保護計画の要点を示すパンフレット作成
	教育費関係		
	通学バス運行委託費	18,064	脊振中学校区内の園児・小中学校児童生徒の通学のための援助
学力向上対策補助金(小・中学校教育振興総務費)	2,000	市内小・中学校がそれぞれの特色ある開かれた学校づくりを図る	
幼稚園費	21,550	私立幼稚園就園奨励費補助	
放課後児童クラブ事業(放課後児童プラン事業)	19,039	放課後、保護者のいない家庭の小学生の児童を遊びを通して保護、育成する	
保健体育総務費	22,060	社会体育における体育・スポーツ活動、競技スポーツの振興	
文化財サイン整備事業	7,928	市内の各種指定文化財の所在と内容を紹介する標柱・説明板を整備	